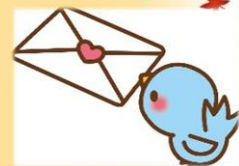


S S R

山口大学

# 学生特別支援室だより

## News Letter



### 学生特別支援室室長 須藤先生からのメッセージ

本年度から学生特別支援室(SSR)の室長に須藤邦彦先生(教育学部准教授)が就任されました。須藤先生に、新室長としての思いや、学生特別支援室設置5年目にあたっての展望などについて、インタビューを行いました。

SSR須藤室長に  
インタビューしました!



#### 新室長としての思い

室長として、特別支援教育の専門性を活かした貢献ができればと思っています。私の専門は幼、小、中、高までの幼児、児童、生徒さんへの支援とそれを支える先生方との連携なので、その専門性がSSRの活動の中で活かせればと思っています。

#### 組織の連携について

組織の運営面では、幼、小、中、高の場合は外部の人間が入っていて、外部だからこそ、内情を知らないと言えることがあるし、外部に言われたからこそ、内部の人が気づくこともあります。組織を変革していかないといけないという話もありますが、今学校で求められるのは、外部の組織から情報や意見をもらえるような場を自分たちが自発的に作るのだと思います。大学以外から意見をもらえる場、SSRにおいてはSSR以外から意見をもらえる場を増やすことは、1つポイントになると思います。

#### SSR5年目にあたっての今後の展望



1つ1つの活動は、「人と人」で動いて出来上がっていきます。支援は一人ではできず、ある程度のメンバーでの連携が前提になります。それを個人レベルで維持していくためには、支援者側も「やってよかった」と思えるような、周りも意義が得られるシステムが必要になっていきます。肯定的なフィードバックが少しでも支援をしていただいた先生方にも返っていかないと、なかなかうまくいきません。支援に携わったからこそ、それらを踏まえて、シラバスを作成したり、授業を構成したり、演習を持ったりする際に、どんな多様性にもある程度対応できるようなものを作っておくことに意義を見出してもらえるかが今後重要になると思います。

#### 学生へのメッセージ

今大学の中で起きている1つ1つの配慮例が具体的にどんな効果を狙っているのか、どんな意味があるのかを知ってほしいです。今年度から共通教育棟に自転車進入禁止区域ができましたが、ただコーンが置いてあるだけでなく、その意図が看板に書いてあります。それを読んで「どんな意味があるのか」というところまでイメージできるようになると良いと思います。



# 支援機器紹介(2)

山口大学では、修学上の支援を円滑におこなうために支援機器を整備し、必要に応じて在學生に貸出できるようにしています。今回は、支援機器紹介の第2弾として、山口大学が備えている支援機器の機能や使用用途を紹介します。「SSRニューズレター第5号」にも機器紹介していますので、併せてご覧ください。

## Roger(補聴援助システム)



(左から親機、子機、受信機)

- ・「聞こえ」を支援する補聴援助システムです。
- ・送信機(親機・子機)と受信機があり、デジタル無線方式でクリアな音声を聞き手に届けることができます。
- ・視聴覚機器から直接、音源を耳元にとどけることもできます。



送信機着用の例



## AVANTEK(イヤーマフ)



- ・「聞こえ」を支援するイヤーマフです。
- ・周囲の音のある程度遮ることができます。
- ・周囲の音が気になるときに装着すると、騒音が軽減され集中を促します。

## デジタル耳栓



- ・「聞こえ」を支援するデジタル耳栓です。
- ・スイッチを入れるとある程度騒音が遮断されます(呼びかけ声・アナウンス・着信音などの必要な音は聞くことができます)。

## BrailleMemo SMART(多機能型点字ディスプレイ)



- ・音声出力と点字出力を頼りに操作できる多機能型点字ディスプレイです。
- ・パソコンに接続すれば、スクリーンリーダーと協力して、パソコンの操作をサポートします。
- ・本体にテキスト編集、点字編集、デジ再生、音声メディアの再生などの機能があります。
- ・音声読み上げ機能やボイスレコーダー機能も搭載されています。



# ESCHENBACH mobilux(ルーペ)



- ・「見えやすさ」を支援するルーペです。
- ・手元の資料を拡大して見ることができます。
- ・LEDライトがついているのではっきり見ることができます。

LEDライトをつけた  
場合



白色・黄色・橙色  
から自分に  
合わせて  
選ぶことが  
できる！

## 据置型 拡大読書器



- ・「見えやすさ」をサポートする支援機器です。
  - ・手元の文字を、モニタを通して拡大して見ることができます。
  - ・色の反転や、明るさの調節もできます。
- ※現在、総合図書館(吉田地区)に設置しています。



## 車いす

※車いす、車いす用  
テーブルは共通教育  
係、学部、SSRで管理  
しています。



### 自走式

- ・使用者が自分で  
操作することが  
できる車いすです。
- ・介助ブレーキが  
ついています。



### 介助式

- ・介助ブレーキが  
ついています。
- ・背もたれの一部が  
取り外し可能です。
- ・ひじ掛けを外すと  
乗り降りに便利です。

## 車いす用テーブル



ライフケア  
テーブル

- ・車いす利用者も使いやすいテー  
ブルです。
- ・高さを65～80cm、傾斜を0～25度  
まで、調整できます。



車いす用取り付け  
テーブル

- ・4本のマジックテープで車いすのひじ掛け  
に固定して使う机です。
- ・重さは1.5キロで持ち運びに便利です。
- ・サイズは幅63×奥行50×高さ2cmです。

## 傘



- ・直径85cmの大きな傘です。
- ・車いす利用者と介助者が  
一緒に使用できます。

山口大学で管理している支援機器一覧はこちらからご覧ください。

<http://ssr.ssc.oue.yamaguchi-u.ac.jp/support/>

# SSR学生スタッフの活動報告

## 駐輪場調査

- 今年度から自転車の侵入・駐輪禁止スペースができました！！

共通教育棟周辺では、本年度から規制コーンを置いて、自転車の侵入・駐輪を禁止するスペースができました。

SSRでは現在、侵入・駐輪禁止スペースが設置されたことによる周辺の駐輪スペースへの影響を調査しています。侵入・駐輪禁止スペースに駐輪しないことはもちろん、駐輪場の利用マナーもしっかりと守っていきましょう。

### 自転車の 乗り入れ・駐輪禁止

ここから先のA～Cの区域は、歩行者、けがや体の不自由な方の通行の妨げになりますので、自転車の乗り入れ・駐輪を禁止します。駐輪場に止めてください。



## 授業中ノートテイクやリスピークを実施しています

- ノートテイク(要約筆記)とは  
授業情報を保障する方法のひとつで、聴覚障害等がある学生に対して、先生の話す内容や学生の発言の内容、授業中の音情報を要約して筆記通訳します。手書きで行ったり、パソコンを使う方法があります。



- リスピークとは  
先生の話す内容や学生の発言の内容を要約して復唱(リスピーク)し、音声認識ソフトを使って通訳することです。復唱の音が、授業の妨げになる可能性があるため、通常は別室でリスピークを行い、インターネットを介して教室内のモニターに字幕を表示させます。復唱せず、先生の声を直接、音声認識ソフトで文字に変換する方法もあります。

- それぞれに求められるスキル/作業/環境

- ✓ SSR学生スタッフは、今までノートテイクを練習・実践してきました。主にタイピング練習や、実践を想定した二人一組での練習、報告会などのイベントや授業でのサポートです。パソコンでの連携テイクには、タイピングスキルや、耳から音情報を聞いて要約しキーボードに入力する力、ペアとの役割分担の調整などが必要でした。
- ✓ 最近では、ノートテイクと平行して、音声認識ソフトによるサポートを実施しています。リスピークでは、先生の声聴いて瞬時に要約して話す力が必要になります。また、話者の声を直接、音声認識ソフトにかける場合は、音声認識ソフトの誤変換を手入力で修正すると、情報の精度があがります。ネット環境が整っていないと実施しにくいという課題もあるため、今後も改善を重ねて、よりよい支援を行っていきたいと考えています。

### 問い合わせ先

### 山口大学 学生特別支援室(SSR)

利用時間: 10:00~18:00(土日・祝日を除く)

場所: 共通教育本館1階 就職支援室横

TEL: 083-933-5256

E-mail: shien@yamaguchi-u.ac.jp